

## 競技別実施要項【空手道（県内交流大会）】

1 期 日 平成30年12月23日(祝日) 開会式：9時30分 試合開始：10時～

2 会 場 神奈川県立武道館（柔道場）  
住所：横浜市港北区岸根町725 交通：市営地下鉄岸根公園駅下車徒歩3分

### 3 参加資格

- (1) 単位団：平成29年度日本スポーツ少年団に登録している団で、今年度も登録する団。
- (2) 指導者：平成30年度スポーツ少年団登録をしている指導者で、集団指導の能力に優れ、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
- (3) 団員：平成30年度スポーツ少年団登録をしている平成30年4月1日現在小学校6年生以下の団員で、所属市町スポーツ少年団本部長が推薦する者。
- (4) 平成30年度スポーツ安全保険（同等の補償のある傷害保険を含む）に加入済みであること。

### 4 参加者及びチーム編成

- (1) 指導者はスポーツ少年団認定育成員又は認定員の有資格者であること。
- (2) 団員は、中学生以下。なお、団員・指導者とも同一の単位団所属であること。

5 参加料 個人「形」「自由演武」：1名 1,500円、団体組手：1チーム 3,000円

6 申込締め切り及び代表者会議 \* 出場チームの代表者は(代理も可とする)必ず出席すること。

(1) 申込み期限 締切日 平成30年10月19日(金)

(2) 代表者会議 日 時 平成30年11月10日(土) 14時00分から  
会 場 県立スポーツ会館  
所在地：横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1

### 7 競技規則及び方法

#### 【個人「形」「自由演武」の部】

- (1) 日頃の練習成果を発表するとともに各人に自信を持たせることを目的とするので、順位決定は行わない。
- (2) 種目は形の部・自由演武の部の2種目とし、参加は1名1種目に限る。
- (3) 自由演武については基本その場突き等とする。
- (4) 選手は観客席に向かって演武する。(審査員は観客席側に一列)
- (5) 出場者全員に優秀賞として金メダルを与える。
- (6) 選手はコート内で演武し、完了時審査員から金メダルをかけてもらい審査員と握手をして退場する。
- (7) 各カテゴリー審査員毎に「審査員賞」の副賞を与える。審査員1名につき審査対象人数は1カテゴリー／1審査員につき 参加選手6名毎に1名を目安とする。

#### ○審査員賞の基準：

- ① 元気(ナイスファイト)：気合いの聲が大きかった、力強かった など
  - ② 礼儀(グッドマナー)：礼がきちんとできていた、待ち時間の態度がよかった など
  - ③ 最後までやる気(ネバーギブアップ)：途中であきらめず最後まで演武した など
- ※ 技の優劣ではなく、①～③のいずれかを各審査員が選定し、賞を与えることとする。

(8) カテゴリーは以下の⑩とする

#### ①自由演武

②幼年 3級以上 ③幼年 6級～4級 ④幼年 10級～7級

⑤小学1～2年生 3級以上 ⑥小学1～2年生 6級～4級 ⑦小学1～2年生 10級～7級

⑧小学3～4年生 3級以上 ⑨小学3～4年生 6級～4級 ⑩小学3～4年生 10級～7級

⑪小学5～6年生 3級以上 ⑫小学5～6年生 6級～4級 ⑬小学5～6年生 10級～7級

⑭中学生 3級以上 ⑮中学生 6級～4級 ⑯中学生 10級～7級

※参加人数が少数の場合、種目を合わせることもある。

## 【団体「形」演武の部】

- (1) 各団チームの出場とする。(人数は制限しない)
- (2) 演武内容は全日本空手道連盟等の指定形等にとられない独創的な演武とする。
- (3) 演武後、審判員にて投票を行い、上位3チームに賞を(優勝、準優勝、3位・敢闘賞)を与えることとする。
- (4) 出場する場合は必ず、申込書にその旨を記載すること。
- (5) 個人「形」または「自由演武」に参加登録していない人は、参加できない。

## 【団体「組手」の部】

- (1) 個人「形」または「自由演武」に参加登録していない人は、参加できない。
- (2) カテゴリーは以下の④とする。3名を1チームとする。

- ① 幼年
- ② 小学1～3年生男女(先鋒は必ず1年生とする。男女は問わない)
- ③ 小学4～6年生男女(先鋒は必ず女子とする。学年は問わない)
- ④ 中学生(先鋒は必ず女子とする。学年は問わない)

※ 2名以上いればチームを組むことができる。但し欠員のところは0-4で負けとなる。

※ 指定の先鋒以外は特に指定はしない。団体代表者は学年、男女、選手の実力を考慮し選手を選出すること。

- (3) 小学生・中学生の部ともに2チーム以上の参加で成立する。  
なお参加チームが3チームの場合リーグ戦になる。

- (4) 競技は全日本空手道連盟(組手競技規定)に準じて行い、カデットルールを適用し安全面を最重要視する。  
時間は1分フルタイムとし、4ポイント差を勝ちとする。

トーナメント方式で行い、その勝敗数によって各チームの勝敗を決する。

時間内同点で終了した場合は、判定を行い勝敗を決定する。

勝敗が決しても最後(大将戦)まで行う。但し進行時間によっては勝敗が決まった時点で終わりとする。

より多くの選手を出場させることを主旨とし、( )内に補欠者の氏名を1名まで記入可能とする。

- (5) 敗者復活戦を行う。

- (6) 拳サポーター(JKF指定赤・青リバーシブル、グローブ型も可)、メンホー、ボディープロテクター、セフティカップ(小学4年生以上男子)は必須。シンガード、インステップガード着用は任意。

- (7) その他、ルールの詳細は、代表者会議において審判監督会議資料とし協議決定する。

## 8 個人情報の取り扱いについて

別紙申込書に記載された個人情報は、大会プログラムの記載の他に、本大会の目的達成のためのみに使用。

## 9 その他

- ① 太字の今年度の変更点につきましては、執行部内話し合いで決定いたしました。
- ② 団体組手競技に出場する団員は健康保険証(写)を持参してください。  
なお、傷害の際は応急手当のみ行います。
- ③ 大会運営に際しては審判員及び大会役員・係員のご協力をお願いいたします。
- ④ 駐車場はありませんので、車での来館はご遠慮ください。
- ⑤ 県立武道館は9時まで入館できませんのでご注意ください。
- ⑥ ゴミは各自持ち帰り処理してください。また、競技終了後、参加者全員で後片付け・会場清掃を行いますのでご協力ください。
- ⑦ 申し込みはデータで送信のこと。申込書データが必要な場合は下記へ申し出てください。

\*大会について問合せ・・・(携帯:080-5502-0689 アドレス:karate-no-keiko@ezweb.ne.jp 高松景子)